Recdia
操作マニュアル

株式会社サン・データセンター

【Recdia 操作マニュアルの読み方】

◆ 本書の構成

本書は、Recdia の操作マニュアルを章単位に分割したものです。

ここでは、『第 11 章　よくある質問と答え』を解説します。

各ページには、その目的で必要になる手順の画面と操作方法を掲載しています。

◆ 用語について

文章は基本的にパソコンで使用されている用語を用いて説明しています。

よく使われている用語を以下に説明します。

デスクトップ	Windows の画面全体のこと。
フォルダ	ファイルを整理するために使われる分類。 名前のついた引き出しのようなもの。
ファイル	データに名前をつけて保存したもの。
ポインタ	マウスの動きに合わせて画面を動く目印。 通常は矢印の形をしている。
カーソル	文字を入力する時に表示される垂直の点滅する棒のこと。
ショートカットキー	マウスでの操作のかわりに、キーボードキーで実行する操作。
クリック	マウスの左ボタンを1回押す操作。
ダブルクリック	マウスの左ボタンを素早く2回押す操作。
ドラッグ	マウスの左ボタンを押したまま、マウス本体を動かすこと。

※クリック方法について

本書では Windows の標準であるダブルクリックモード（一度クリックして選択し、ダブルクリックで開くという方法）を採用しています。

シングルクリックモード（一度クリックして開くという方法）を採用している方は、文章中のダブルクリックをシングルクリックに読みかえてご使用下さい。

（どちらのクリック方法を採用しているか確認したい場合は、エクスプローラを開いて、[ツール]メニューの中の[フォルダオプション]を選択し、[全般]というタブをクリックして下さい。）

当製品は、財団法人テクノエイド協会の助成金による事業で開発されたものです。
開発協力　日本点字図書館

１１．よくある質問と答え

11-1. ファイル ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

11-2. 再生しても音が聞こえません ・・・・・・ 5

11-3. 録音･編集 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

11-4. フレーズ操作 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

11-5. 設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

11-6. エラーメッセージ ・・・・・・・・・・・・・・・ 9

11-7. その他 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17

【11-1. ファイル】

1. ファイル・フォルダとはなんですか？

ファイル・・・・・パソコンのプログラムやデータの一つ一つのこと。
フォルダ・・・・・パソコンにデータを保存する時に、関係するものをしまっておく場所のこと。

関連 TOPIX ⇒【3-1.フォルダの選択】【3-2.ファイルの新規作成】

2. ファイルを分割するのはどんな場合にするのですか？

音声ファイルの容量が大きくなったときに分割します

例えば45分以内で収めたいWaveファイルなのに、実際の録音したファイルの総時間数が45分よりもオーバーしてしまったというWaveファイルがあるとします。この時、ファイルの分割機能を使えば、オーバーした時間分のファイルを消去せずにデータを収めることができます。

関連 TOPIX ⇒【3-5.ファイルの分割】

3. フォルダ選択時に読取専用と表示されました

再生することは可能なファイルですが編集することは出来ません。

フォルダ選択時に**「選択したフォルダは読取専用です。書込み可能に変更しますか？」**というウィンドウが表示されます。このとき「はい」「いいえ」のボタンをそれぞれ押すと下記のようになります。

はい　　フォルダの読取専用を解除させます。
但しフォルダ内に読取専用ファイルが入っていた場合はそのファイルは
読取解除できません。
※解除出来なかった場合は、「いいえ」と同じ動作になります。

いいえ　フォルダの読取専用を解除させません。
編集作業を行うことが出来ません。

関連 TOPIX ⇒【3-1.フォルダの選択】【3-3.ファイルの決定】

4. ファイル決定時に読取専用と表示されました

再生することは可能なファイルですが編集することは出来ません

ファイル決定時に**「選択したWaveファイルは読取専用です。書込み可能に変更しますか？」**というウィンドウが表示されます。このとき「はい」「いいえ」のボタンをそれぞれ押すと下記のようになります。

はい　　読取専用を解除させます。
ファイル編集作業をすることが出来ます。
※解除出来なかった場合は、「いいえ」と同じ動作になります。

いいえ　読取専用を解除させません。
ファイル編集作業をすることが出来ません。

関連 TOPIX ⇒【3-1.フォルダの選択】【3-3.ファイルの決定】

【11-2. 再生しても音が聞こえません】

1. 再生しても音が聞こえません

ヘッドフォンの接続はしっかりしていますか？

パソコン本体のヘッドフォン接続部分を確認して下さい。

関連 TOPIX ⇒【2-2.マイク・イヤホンの準備】

再生ボリュームを確認して下さい

再生ボリュームのスライダが一番下にありませんか？もう一度確認して下さい。

関連 TOPIX ⇒【6-1.音量設定】

【11-3. 録音・編集】

1. 録音が綺麗にされませんでした

マイクの接続確認または録音設定をもう一度設定して下さい

マイクの接続部分を確認して下さい。また、マイクの接続を確認したら、[設定] メニューから[録音設定]をもう一度設定しなおして下さい。

関連 TOPIX ⇒【2-2.マイク・イヤホンの準備】【4-1.録音前の設定】

2. どれくらいの声の大きさで録音すればいいのですか？

音量レベルメーターの目標範囲（白い部分）が目安です

初回起動時の録音設定または作業中に録音設定または騒音測定・テスト録音を行います。

関連 TOPIX ⇒【4-1.録音前の設定】

3. IN・OUT とは何ですか？

フレーズの範囲指定を行うときに使います

音声ファイルの部分的な修正を行うときに使います。IN とは開始するフレーズを言います。また、OUT とは終了するフレーズのことを言います。

関連 TOPIX ⇒【7.IN・OUT の操作】

【11-4. フレーズ操作】

1. フレーズとはなんですか？

音声データのかたまりのことをいいます

フレーズとはある一定の長さで区切られた音声のかたまりのことをいいます。区切り時間の設定によっては音声のかたまりの数が増えたり減ったりします。

関連 TOPIX ⇒【6-3.区切り設定の変更】【8-1.BACK・NEXT ボタンによるフレーズ移動】

2. フレーズ数に制限はありますか？

フレーズ数に制限はあります

作成可能なフレーズ数は 1～9999 フレーズまでになります。

【11-5. 設定】

1. 録音設定はどんな時にするのですか？

・朗読をする人が変更になったとき
・録音する部屋が変更されたとき
・使用しているマイクが変更されたとき
・使用しているパソコンが変更されたとき
など録音環境が変わったときに設定を変更して下さい。

関連 TOPIX ⇒【6-2.設定の変更】

【11-6. エラーメッセージ】

【11-6-1.設定】

1.「再生音量の設定が出来ませんでした。」
パソコンにサウンド機能が搭載されているか確認して下さい。 ※パソコン本体の取扱説明書をお読み下さい。 関連 TOPIX ⇒【6-1.音量設定】
2.「マイク音量の設定が出来ませんでした。」
パソコンにサウンド機能が搭載されているか確認して下さい。 ※パソコン本体の取扱説明書をお読み下さい。 関連 TOPIX ⇒【6-1.音量設定】
3.「テスト録音に失敗したため、音声補正機能を有効にする事ができませんでした。 音声補正機能を有効にするには、再度テスト録音を実行して下さい。」
再度テスト録音を行って下さい。 フレーズが出来ない場合は、実際の朗読ではなく、「1、2、3･･･」とゆっくり数字を 数えてお試し下さい。 ※テスト録音に失敗する原因として、以下のことが考えられます。 ・騒音値が高い ・パソコンに電気的ノイズが発生している ・音声部分と無音部分（音声がない状態の部分）の差（12dB）が少ない ・無音部分の音量が大きすぎる（騒音量の目安は-40dB 未満） 関連 TOPIX ⇒【6-1.音量設定】【6-2.設定の変更】

【11-6-2.ファイル】

1.「書込み可能に変更出来ませんでした。再生機能のみ有効にします。」

フォルダが読取専用だった場合、書込み可能にする確認メッセージが表示されます。
(**「フォルダ選択時に読取専用と表示されました。」**)
そこで書込み可能に出来なかった場合に表示されます。録音機能を有効にする場合は
フォルダを書込み可能なフォルダにコピーして、フォルダの選択を行って下さい。

関連 TOPIX ⇒【11-1 設定「3.フォルダ選択時に読取専用と表示されました」】

2.「このフォルダは書込みが禁止されています。再生機能のみ有効にします。」

選択したフォルダがフロッピーディスク、MO 等で、ディスク本体で書込み禁止している場合に表示されます。
書込み可能にする場合は、ディスク本体の書込み禁止を解除して下さい。

関連 TOPIX ⇒【3-2.ファイルの新規作成】

3.「書込み可能に変更出来ませんでした。編集機能を使用不可にします。」

Wave ファイルが読取専用だった場合、書込み可能にする確認メッセージが表示されます。
(**「ファイル選択時に読取専用と表示されました。」**)
そこで書込み可能に出来なかった場合に表示されます。録音機能を有効にする場合はフォルダを書込み可能なフォルダにコピーして、フォルダの選択を行って下さい。

関連 TOPIX ⇒【3-3.ファイルの決定】
【11-1 設定「4.ファイル決定時に読取専用と表示されました」】

4.「音声データの無い Wave ファイルは分割出来ません。」

録音されていない Wave ファイルは分割出来ません。

関連 TOPIX ⇒【3-2.ファイルの新規作成】【3-5.ファイルの分割】

5.「指定された Wave ファイルは削除出来ませんでした。」

他のアプリケーションで使用されていないか確認して下さい。

関連 TOPIX ⇒【3-4.ファイルの削除】

6.「指定された Wave ファイルは読取専用のため削除出来ませんでした。」

読取専用の Wave ファイルは削除出来ません。

関連 TOPIX ⇒【3-3.ファイルの決定】
【11-1 設定「4.ファイル決定時に読取専用と表示されました」】

7.「一般的な Wave ファイルではありません。」

使用出来ない Wave ファイルです。

関連 TOPIX ⇒【3-1.フォルダの選択】【3-2.ファイルの新規作成】

8.「フォーマット形式が違うため、再生機能のみ有効にします。」

録音・編集可能な Wave ファイルはフォーマット形式（22.05KHz、16Bit、モノラル）です。

関連 TOPIX ⇒【3-1.フォルダの選択】【3-2.ファイルの新規作成】

9.「ファイル名が入力されていません。」

ファイル名を入力して下さい。

関連 TOPIX ⇒【3-2.ファイルの新規作成】【3-5.ファイルの分割】

10.「ファイル名が長過ぎます。」

ファイル名を短くして下さい。

関連 TOPIX ⇒【3-2.ファイルの新規作成】【3-5.ファイルの分割】

11.「ファイル名に使用出来ない文字 ¥/:*?"<>| が入力されています。」

¥/:*?"<>|はファイル名に使用出来ません。

関連 TOPIX ⇒【3-2.ファイルの新規作成】【3-5.ファイルの分割】

12.「同名の Wave ファイルが存在します。」

フォルダ内に同名の Wave ファイルが存在しています。ファイル名を変更して下さい。

関連 TOPIX ⇒【3-2.ファイルの新規作成】【3-5.ファイルの分割】

13.「書込み権限がないため、編集機能を無効にします。」

他のアプリケーションで使用されていないか確認して下さい。
または、ファイルセキュリティの書込み権限がありません。
※ファイルセキュリティの詳細は Windows のヘルプを参照して下さい。

関連 TOPIX ⇒【3-3.ファイルの決定】

14.「ファイル1のファイルは存在しません。」
「ファイル2のファイルは存在しません。」

指定したファイルが存在しないか、ファイル名が異なります。

関連 TOPIX ⇒【3-6.ファイルの結合】

15.「結合できないファイルです。」

指定したファイルは Wave ファイルではありません。
結合可能なファイルは Wave ファイルで、フォーマット形式（22.05KHz、16bit、モノラル）のみです。

関連 TOPIX ⇒【3-6.ファイルの結合】

16.「2 つ以上のフレーズが無い Wave ファイルは分割できません。」

分割を行うには、2 つ以上のフレーズが必要です。

関連 TOPIX ⇒【3-5.ファイルの分割】

17. アクセス権が無いため、Wave ファイルは開けません。」

ファイルセキュリティの読み取りと実行権限がありません。
もしくは、同等の権限をユーザーに与えられていない可能性があります。
※ファイルセキュリティの詳細は、Windows のヘルプを参照して下さい。

【11-6-3.IN・OUT フレーズ操作】

1.「前回編集時の IN・OUT フレーズを呼び出せません。」

【7-6-1.フレーズの呼び出し】を参照して下さい。

関連 TOPIX ⇒【7.IN・OUT の操作】

2.「IN フレーズを設定して下さい。」

【7-6-2.フレーズの切り取り】を参照して下さい。

関連 TOPIX ⇒【7.IN・OUT の操作】

3.「IN と OUT が同フレーズなので切り取り出来ません。」

【7-6-2.フレーズの切り取り】を参照して下さい。

関連 TOPIX ⇒【7.IN・OUT の操作】

4.「音声データが無いため、IN フレーズは設定出来ません。」

録音されていない Wave ファイルでは使用出来ません。

関連 TOPIX ⇒【7.IN・OUT の操作】

5.「音声データが無いため、OUT フレーズは設定出来ません。」

録音されていない Wave ファイルでは使用出来ません。

関連 TOPIX ⇒【7.IN・OUT の操作】

6.「音声データが無いため、MARK は設定出来ません。」

録音されていない Wave ファイルでは使用出来ません。

関連 TOPIX ⇒【8-2-1.MARK ボタンの使い方】

7.「OUT フレーズより大きいフレーズは設定出来ません。」

IN フレーズは OUT フレーズより小さいフレーズを設定して下さい。

関連 TOPIX ⇒【7.IN・OUT の操作】

8.「IN フレーズより小さいフレーズは設定出来ません。」

OUT フレーズは IN フレーズより大きいフレーズを設定して下さい。

関連 TOPIX ⇒【7.IN・OUT の操作】

9.「OUT フレーズより現在フレーズの方が大きいため再生出来ません。」

現在位置を OUT フレーズの開始時間より小さくして下さい。

関連 TOPIX ⇒【7.IN・OUT の操作】

10.「OUT フレーズより現在フレーズの方が大きいため録音出来ません。」

現在位置を OUT フレーズの開始時間より小さくして下さい。

関連 TOPIX ⇒【7.IN・OUT の操作】

11.「分割フレーズが入力されていません。」

Wave ファイルを分割する位置(フレーズ番号)を入力して下さい。

関連 TOPIX ⇒【3-5.ファイルの分割】

12.「分割フレーズに数値以外が入力されています。」

数値を入力して下さい。

関連 TOPIX ⇒【3-5.ファイルの分割】

13.「分割フレーズは 1～○の範囲で入力して下さい。」

メッセージに表示された範囲の数値を入力して下さい。
関連 TOPIX ⇒【3-5.ファイルの分割】

14.「フレーズ先頭のため分割できません。」

フレーズの先頭ではフレーズ分割は行えません。
関連 TOPIX ⇒【7-7.フレーズ分割】

【11-6-4.校正票画面呼び出し】

1. 「校正票一覧を編集中はファイル変更できません。校正票画面を閉じてから実行してください。」
校正票追加画面、もしくは校正票編集画面を表示中は Wave ファイルを 変更することができません。
2.「校正票一覧を編集中は送信できません。校正票画面を閉じてから実行してください。」
校正票追加画面、もしくは校正票編集画面を表示中は Recdia から校正時間を 設定することができません。
3.「校正票一覧を編集中は削除できません。校正票画面を閉じてから実行してください。」
校正票追加画面、もしくは校正票編集画面を表示中は選択した Wave ファイルを 削除できません。
4.「指定された校正データファイルは読取専用のため削除出来ません。」
読取専用の校正データファイル(選択した Wave ファイル名+拡張子:prof)は、 削除出来ません。

※校正票画面でのエラーメッセージについては、別冊『校正票操作マニュアル』を参照して下さい。

【11-6-5.アプリケーション】

1.「システムをスタンバイ状態にする場合は Recdia を終了して下さい。」
システムをスタンバイ状態、または休止状態にする場合は先に Recdia を終了して下さい。
2.「致命的なエラーが発生したため、アプリケーションを終了します。」
お手数ですが、弊社まで御連絡下さい。

【11-7. その他】

1. ショートカットキーとはなんですか？

マウス操作の代わりに複数キーの組み合わせで任意のプログラムを起動したり、
機能を実行したりするキーボードキーのことをいいます。
このショートカットキーを使えばマウスを使うよりも速く効率的に操作することができます。

どのボタンにどのショートカットキーが割り当てられているのかは【2-4.各部の名称】を
参照して下さい。
また、Alt+■（アルファベット）については同時に押すことを意味しています。

2. パソコンを新しく購入しましたが、Recdia の導入方法が分かりません

【1-2.ソフトの導入】を参照して下さい。

3. 画面、文字がずれて表示されます

ディスプレイの設定(「画面のプロパティ」の「ディスプレイの詳細」)において、「大きいフォント」が指定されていると、ボタン名称やラベル文字列等、表示しきれない場合があります。
その場合には「小さいフォント」に変更する等して下さい。

以下の設定で表示を確認しております。

画面の領域　：800×600以上
画面デザイン　：標準、大きいフォント、特大フォント
フォントサイズ　：小さいフォント～その他（200%）

※ただし、使用されているパソコン・OSの種類によって
上記設定でも正しく表示されない場合があります。

4. ハードディスクの電源 OFF について

電源オプションのプロパティ（コントロールパネル）において、
「ハードディスクの電源を切る」が設定されていると、Recdia 起動中にハードディスクの
電源が切れ、動作不安定となる場合があります。
Recdia を使用する際は「ハードディスクの電源を切る」を「なし」にして下さい。